

さいたま市長定例記者会見

令和4年7月1日（金曜日）

午後1時30分開会

- 進 行 定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、NHKさん、進行をよろしく申し上げます。
- NHK 7月の幹事社を務めますNHKです。よろしく申し上げます。
それでは、本日の記者会見内容について、市長から説明をお願いいたします。
- 市 長 皆さん、こんにちは。
史上最短で梅雨が明けた関東ですが、その後も連日厳しく、そして危険な暑さが続いています。政府は、本日からの節電要請を発表していますが、厳しい暑さの日にはできる限り外出を控えていただき、こまめに水分補給をしながら、エアコンなどを使って涼しくお過ごしをいただきますようお願いいたします。
また、市報7月号では、「熱中症対策講座」として特集記事を掲載していますので、こちらもぜひ御覧いただき、熱中症対策にお役立ていただきたいと思います。
さて、本日7月1日は、世界最大の自転車レースであるツール・ド・フランスの開幕日です。日本時間の今夜には、デンマークのコペンハーゲンをスタートする予定ですが、私も自転車レースファンの一人としてこの日を心待ちにしていました。
こちらのポスターを御覧ください。11月6日に開催される「J:COM presents 2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」のメインビジュアルです。ツール・ド・フランスの象徴であるマイヨ・ジョーヌを着た選手が3年ぶりにさいたま新都心に戻ってきます。躍動感と疾走感のあるこのメインビジュアルに、さいたま新都心を走る選手の姿が重なり、胸が高鳴ります。
また、本日から3日まで、さいたまクリテリウムの開幕を記念したPRイベントがまるまるひがしにほん 東日本連携センターで開催されます。ぜひ御来場いただき、さいたまクリテリウムの魅力を感じていただきたいと思います。

ます。

それでは、議題に入らせていただきます。

市長発表：議題1「新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種状況について」

まず、議題1「新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種事業」について御説明します。

まず、最新の本市の感染状況についてです。先週1週間の新規陽性者数は981人で、先週と比べて約1.18倍です。新規陽性者数の週別の推移を見ますと、長期にわたり続いてきた減少傾向が6月中旬から増加に転じています。

右上のカレンダーで直近の日別の発生状況を見ても、赤枠で囲ってあるように、6月中旬以降、ほとんどの日で前週の同曜日を上回る状況です。

次に、こちらを御覧ください。年代別の新規陽性者数を週別で集計した推移についてですが、左のグラフのとおり、10歳未満と10代の増加が顕著となっています。

右の年代別の3回目ワクチン接種割合のグラフを見ますと、若年層の接種割合が低く、今後、この年代において感染拡大が先行するおそれもあります。3回目のワクチン接種をこれから希望される方で、接種割合の低い40歳代以下の方は、早めの接種に御協力ください。

本市の感染状況は、夏休み等による人流の拡大やオミクロン株の新たな系統への置き換わりなどにより、今後本格的な拡大期を迎える懸念もあります。これまで以上に最新の動向に注意をするとともに、次の感染拡大に備えた保健所の体制強化等に引き続きしっかりと取り組んでいきます。

今年は早くも暑さが本格化しています。冒頭の挨拶でも触れましたが、市民の皆様には、エアコンの適切な使用や小まめな水分補給など、体調管理に十分に気をつけてください。やむを得ず外出する際は、周りに人がいないときにはマスクを外すなど、熱中症予防にも配慮した感染予防策への御協力をお願いします。

次に、本市の新型コロナワクチン接種の状況について御説明します。なお、本日から4回目接種の状況についても御説明します。

7月1日時点での3回目接種の接種率は、対象者が12歳以上となります

が、66.3%です。4回目接種は、まだ始まって間もないこともあり、60歳以上の方の接種率は0.5%です。なお、接種率には含まれませんが、18歳以上59歳以下の基礎疾患を有する方等の接種済み数は508人です。

6月に引き続き、7月も若い方が接種を受けやすくなるよう、ファイザー、モデルナ、ノババックスと3種類のワクチンが接種できる会場をそれぞれ用意しています。先ほども申し上げたとおり、6月中旬から新型コロナウイルスの感染者数が緩やかではありますが、増加傾向に転じています。旅行など外出の機会が多くなる夏休みを迎える前に、ぜひ接種を御検討ください。

次に、予約代行窓口開設について御説明します。来週7月5日から一般の高齢者向けに4回目接種用クーポン券の発送が本格化するのに合わせ、7月7日から8月19日までの間、市内の商業施設のうち20か所に予約の代行窓口を開設します。御覧のとおり、身近なスーパーなどに開設していますので、インターネットでの予約に不安のある方はお気軽に御来場ください。その際、接種用クーポン券が必要になりますので、忘れずにお持ちください。なお、施設によって開設日時が異なりますので、詳しくはさいたま市のホームページで御確認ください。

また、区役所や一部の図書館、公民館など市内31か所の公共施設内に開設している相談窓口でも予約の代行が可能です。こちらもぜひ御利用ください。

市長発表：議題2「さいたまランフェス2022-23を開催します」

続いて、議題2「さいたまランフェス2022-23」の開催についてお知らせします。

さいたまランフェスは、子供から大人まで、初心者も上級者も、誰もが楽しく走れるイベントを目指します。

大会概要について御説明します。大会はさいたま市とさいたまスポーツコミッションが主催します。2023年1月21日土曜日と22日日曜日に開催します。会場は、浦和駒場スタジアム及びその周辺です。

昨年に引き続き、大会を通じて、新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療関係者への支援、また、障害の有無にかかわらずスポーツが楽しめる社会の実現を応援するためのチャリティを行います。ランナーの皆さんがチ

ャリティに参加することで、社会貢献を考えるきっかけづくりとして実施したいと考えています。

次に、種目についてです。1月21日土曜日は、小学生から大人まで走る楽しさを実感できる親子ランの部や、4時間チームランの部など5種目を実施します。また、1月22日は、15歳以上の中・上級者向けにハーフマラソンの部など2種目を実施します。普段走る機会がない方にも、走る楽しさを実感していただき、スポーツに対する意欲や関心を高めるきっかけにしていきたいと思えます。

続いて、大会コースについて御説明します。1月21日の各種目は、浦和駒場スタジアム内の特設コースを使用して行います。1月22日のハーフマラソン10キロの部では、浦和駒場スタジアムをメイン会場として、公道を使用したコースで行います。大会当日は、市民の皆様、企業の皆様には、交通規制で御迷惑をお掛けしますが御協力をお願いします。なお、交通規制の詳細については、迂回図などを含め、秋頃に改めてお知らせします。

また、今回から参加者を対象にした新たな参加カテゴリーを設置します。

1つ目がビギナーサポートです。ランニング初心者を対象に、楽しく安心して大会に参加できるようなサポート体制を提供する参加カテゴリーを設けます。

2つ目がプレミアムランナーです。ホスピタリティを求めるランナーを対象に、準備や待機の間として浦和駒場体育館を利用していただくことで、高いホスピタリティを提供する参加カテゴリーを設けます。詳しい内容については、今後、大会公式ウェブサイトで発信していきます。

また、事前クリニックとして、お子様向けと大人のランナー向けのクリニックを開催します。これは、正しいスポーツの知識やトレーニング方法等が学べる機会を提供するもので、参加者の成長をサポートできるような大会にしていきます。

また、当日はグルメブース、スポーツ用品ブース及び他のスポーツやパラスポーツの体験など、サイドイベントも開催できるよう準備を進めています。イベント内容が決定次第、大会公式ウェブサイトで詳細を発表していくので、ぜひ御覧ください。

その他として、申し込みされた方全員に大会記念グッズであるTシャツま

たはタオルをお渡しします。

また、申込み時には、まるまるひがしにほんとのコラボ商品を購入することができますので、ぜひ参加してください。

本大会は、大会の開催・運営を通じて、多くの方々にSDGsを意識した取組を知ってもらう活動を実施していきます。

最後に、参加者の募集については、7月21日木曜日正午からエントリーを開始します。エントリーは大会公式ウェブサイトほか、電話でも行うことができます。そのほか大会公式ウェブサイトでは新しい情報を発信していきます。

ランナーの皆様に公道を走っていただく、久しぶりのランニングイベントとなりますので、ぜひ多くの方に御参加いただきたいと思います。

私からは以上です。

議題に関する質問

○ NHK

幹事社のNHKです。

今の議題に関連して2点質問があります。1点目は、直近の新規感染者数が増加傾向にあるということで、市長の受け止めをお願いします。

もう一点が、夏に入りイベントですとか催しというのが開かれていく中で、今後何か呼びかけだったり制限をかけたという事は、お考えの中にありますでしょうか。

以上2点お伺いいたします。

○ 市長

まず、受け止めについてですが、先ほども御説明したとおり、6月の中旬から、これまで減少傾向を続けてきた感染者数が再び増加の兆しを見せ始めています。大変気をつけていかなければいけない時期だと考えています。これから暑さも厳しくなってきますので、熱中症対策、暑さ対策をしていただきながら、もう一方で感染症防止ということも、このところ減少傾向が続いていましたので、忘れがちになっているかと思っておりますので、引き続き気をつけていただきながら、生活していただきたいと思っております。

また、催しへの対策についてですが、現時点では基本的にウィズコロナという考え方の中で感染症対策をしっかりとしながら、できるだけそれぞれの催しを実施していただくと考えています。一方で、感染や3密を防ぐ様々な対策をしっかりと行う必要があります。改めて注意していきながら、催しは

できる限り実施していきたいと考えています。

以上です。

- NHK それでは、各社さん、本日の記者会見内容について質問がある社がありましたらお願いします。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
 今の引き続きですけれども、コロナ感染が増加している要因はどのようなふうに分析されているのかということと、3回目接種が60%台という、これもどのような要因で、いろんなワクチンをやっていくということなのですから、どのようなふうに進めていくお考えでしょうか。
- 市 長 先ほどの御説明の中にも、10代あるいはそれ以下の方々の感染者数が非常に増えているという傾向が出ています。一方で、現在ワクチンの接種状況を見ますと、40代以下の方々の接種率があまり上がっていません。それらを併せて考えますと、ワクチンを打ってない方々にやや広がりやすい状況にあるのではないかと思いますので、40代以下の特にワクチン接種をまだ受けていない方々にできるだけ受けやすい環境をつくって、ぜひ3回目の接種を受けていただけるように呼びかけをしていきたいと考えています。
- 埼玉新聞 別件ですけれども、猛暑が続いていて節電に対しては市としてはどのようなふうな、市庁舎、市役所内、あと一般の方、企業とかにどのようなふうな呼びかけられますか。
- 市 長 節電対策につきましては、昨日まで東京電力管内での節電への呼びかけがなされました。今日からは全国的に呼びかけが行われています。非常に暑い時期ということで、難しさもありますが、基本的にはできるだけ外出を控えていただき、エアコンを適切に使っていただくということが非常に重要なことだと思います。
 必要のない電気については、できるだけ節電していただき、一方で必要のあるエアコンをはじめとする電気については、適切に使っていただきたいと思います。そういった適切な利用について、私たちとしても庁内、また市民の皆様に対して、併せて事業者の皆様に対しても、それぞれの関係団体などを通じて積極的に呼びかけていき考えています。
- 埼玉新聞 庁内で、県はエレベーターを、逼迫したらですけど、止めるとかいうお話ありましたけれども、市役所として、市としてはどういった対策とか取られ

ますか。

○ 市長 担当が来ておりませんので、具体的な取組については、後ほどお知らせします。

○ 東京新聞 東京新聞です。

今の節電の取組で、併せて後で結構なんですけど、教えていただきたいんですが、どんなことをやっておられるのか、公共施設ですね。どういう基準で、今市役所に来られる方でも、何か市役所真っ暗で驚いたりとかしている人がいるかもしれないので、どういうところが消えていますとか、あと数値目標があるのかどうか、それからかつてほかの都市で、過去にこれぐらい厳しく節電をやったことがあるのかとか、その辺りもちょっと後で結構ですので、併せて教えていただければと思います。

○ 市長 分かりました。(会見後、所管課から、廊下の照明の間引き、未使用のパソコンの電源オフ、冷蔵庫の温度設定変更の節電対応、及び数値目標については設定していない旨を説明)

幹事社質問：6月定例会で新庁舎関連の予算が承認されたことに対する市長の受け止めと、今後の具体的なスケジュールについて

○ NHK それでは、幹事社として代表質問をさせていただきます。6月定例会を終えて、新庁舎関連の予算が下りました。市長の受け止めと、これまでに説明していただいているスケジュールの中で、より具体的なものが見えていたら、お答えいただければと思います。

○ 市長 それでは、幹事社からの御質問にお答えします。

まず、先般の4月臨時会において位置条例の改正議案が可決されたことに伴い、6月定例会では新庁舎整備等基本計画の策定及び現庁舎地利活用についての調査検討を実施するための補正予算議案を提出させていただきました。このたび、予算について御承認をいただき、改めて本市の未来を見据えたまちづくりの実現に向けて、令和13年度の新庁舎の供用開始とともに、本庁舎移転後速やかに現庁舎地の利活用を開始できるよう着実に取り組んでいきたいと考えています。

今後のスケジュールについてですが、新庁舎整備等基本計画は令和3年度

に策定した基本構想を基に、令和4年度から5年度にかけて、新庁舎の機能、規模、配置計画や民間施設との複合化の方向性、事業手法などについて具体的な方向性を示し、次のステップである基本設計に必要な諸条件を整理していきます。

検討に当たっては、民間市場調査を行うとともに、外部有識者等で組織する審議会から御意見を伺いながら、具体的な検討を行っていきます。

また、今年度の現庁舎地理活用の調査検討については、ワークショップなどにより市民意見を収集するとともに、利活用の前提条件の整理や先進事例の調査・研究、利活用の具体化に向けた今後の進め方について整理をしていきたいと考えています。

これらの取組の実施に当たっては、「さいたま新都心将来ビジョン」や「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンと」一体的に実施することにより、まちづくりの機運を一層高めながら、市民の皆様幅広く御意見、御提案をいただくとともに、シンポジウム等によって検討の進捗状況を共有しながら進めていきたいと考えています。

以上です。

- NHK 今の代表質問に関して、質問がある方いらっしゃいますでしょうか。それでは、そのほかに質問がある方、お願いいたします。

その他：参議院議員通常選挙について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
参院選が行われていますけれども、清水さんは応援に行かれた陣営はどちらで、何回行かれたんでしょう。
- 市長 私が応援に伺った陣営は、自民党の関口昌一候補、公明党の西田実仁候補、立憲民主党の高木真理候補、そして無所属の上田清司候補です。それぞれ1回ずつお邪魔させていただいています。
- 埼玉新聞 今猛暑の中ですけれども、参院選はどのように御覧になっていますか。
- 市長 非常に暑い中での戦いですので、候補者や選挙に携わっている皆さん、大変御苦労されながら、また健康管理をされながらの取組だと思います。街頭での演説などでも、(聴衆が)多くいらっしゃるときもありますが、この暑さで外出を控えたりということがあるので、少し盛り上がり等の部分で心配もあります。

これからの日本を決める大変重要な選挙でもあるので、ぜひ多くの皆さんに、既に期日前投票も始まっていますので、足を運んでいただいて、自らの意見をしっかり投票所で書いていただきたいと思います。

○ 埼玉新聞 やはり盛り上がりには欠けていて、投票率もちょっと低くなるのではないかとされておりますが、選管として何かこういった運動していますよみたいなものはありますか。

○ 市長 すみません、ちょっと選管は来ておりません。後ほど。(会見後、所管課から屋外広告やメディア放送を用いた啓発事業について説明)

その他：衆議院選挙区割りの見直しについて

○ 東京新聞 東京新聞です。

少し前のお話で、市長にもコメントはいただいたんですが、衆院選の区割りの変更というのがございました。区割りの変更によって、市の施策とかに与える影響があるのかなとちょっとは思っているのですが、市長はその辺りどう見ていらっしゃるのか。

例えば地下鉄7号線に関しては、今まで自民党では村井議員が非常に頑張っていてやってこられたと思うんですけども、村井議員の選挙区からは岩槻は外れてしまったりとか、いろいろと変更点もあると思うんですが、どのように見ていらっしゃるのでしょうか。

○ 市長 選挙区の区割りについて、先般申し上げたとおり、全体としてはさいたま市には比較的变化は少なかったと思っていますが、見沼区が区を分断されていたのが1つになりましたので、その点については住民の皆さんも分かりやすい選挙区になったと思います。

もう一方で岩槻区が16区という新たな選挙区に入ったことで、岩槻区の皆さんにおかれてはちょっと不安な感じを持たれている方もいらっしゃるようです。市としては、衆議院の選挙区が変わっても、10ある区がさいたま市ですので、これまでの政策的なものが大きく変わることはないと思っています。引き続きしっかりと取り組んでいくつもりでありますし、お力添えをいただいてきた衆議院議員の皆様方にも引き続き御支援をいただけるようにしていきたいと思っています。

○ 東京新聞 市内を選挙区にされる衆議院議員の方が3人から4人とかになってしまうんですか。そうすると、何か相談するときも結構煩雑になったりとか、こ

の区のと看はこの人にみたいなのが面倒になったりするのかなと思うんですが、そういうのはあまりないのでしょうか。

- 市長 （さいたま市を含む選挙区が） 4つになったということで、4人あるいは場合によれば比例区での当選もありますので、多くの議員の方々が、さいたま市の進めていく施策の応援団になっていただけたと思います。そういう意味では多くなつての煩雑さというより、むしろ応援してくださる方々が増えることとなりますので、そこは肯定的に捉えています。

その他：市議会の議員定数について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
- 選挙つながりですけれども、今さいたま市議会で定数の問題が議論されていますけれども、定数今60ですけれども、様々な意見が出ていますけれども、市長としては定数はどれぐらいがよろしいかと。前回の第三者機関では、人口2万人に1人が適切じゃないかというお話だったので、そうすると単純に言うくと66になるのですけれども、その辺の考えはいかがですか。
- 市長 適正な定数というのは様々な議論があると思います。さいたま市は、非常に人口が増えている状況下であり、定数をどうするのか、また定数をそれぞれの区でどう配分していくのかということは大変大きな問題であると思っています。これから議会で第三者委員会が設置されて、議論していただくという時期ですので、大変恐縮ですが、私からはそこについて意見はちょっと差し控えさせていただきたいと思います。これからその第三者委員会の中で適切に定数や区ごとの定数配分がなされると思いますので、その答申等を期待したいと思います。
- 埼玉新聞 そういうことも重々分かりながら聞いているんですけれども、代表者会議の中では、市の議会局はわざわざと言うとあれですけれども、公選法では人口比例に基づいて定数は決めるのですとはっきりおっしゃったそうですけれども、それは法律に沿ってくださいという趣旨だと思うんですけれども、その辺はいかがなんですか。
- 市長 それは当然のことだろうと思います。法律あるいは条例の中で決まることがありますので、基本的には法律に基づいて、そして定数については条例を改正することになると思います。第三者的な、中立的な立場の皆さんから御意見を頂戴することによって適切に対応して、法律に基づいた適正な

対応がなされると思っています。

その他：共済組合レクリエーション施設利用補助券不正使用について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
レクリエーション券の不正利用について、市長の受け止めをお願いします。
- 市長 サッカークラブ全体のコンプライアンスの意識が低かったと思っており、大変残念な出来事だと思います。市職員が市民の皆様への信用と信頼を損ねたことについて、おわびを申し上げます。
綱紀粛正及び服務規律の確保については、研修等によって注意喚起を行ってきたところですが、昨日改めて、公務員として自覚ある行動に努めるよう、全職員に対して通達を発したところです。規律を持った対応、心構えをしっかりと職員に働きかけていきたいと思っています。
- 埼玉新聞 免職になられた方は、職員の方の個人情報をも不正に取得していたということですが、この辺はいかがですか。
- 市長 免職になった職員については、個人情報を不当に入手して、それを利用して、割引券を使用したということですので、ちょっと悪質な感じがします。それぞれの個人情報を守るということ、共済組合の中での取扱いということですが、全体のルールの中で実施していることですので、そういったことが適正に行われる、またそれをしっかり守っていくというのは組織人としては最低の役割、責任だろうと思います。そういったことが守られなかった、あるいはかなり悪意のある行動になってしまったことについては極めて残念な思いがしています。
- 埼玉新聞 以上をもちまして記者からの質問を終了します。
- 進行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。
なお、次回開催は7月21日木曜日、午後1時30分からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 2時03分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。